Joge April

上下町
ご当地検定
問題集

＜正誤問題編＞

Joge April

《問題》

1　上下町小堀にある「上下屏風洞洞窟遺跡」では縄文時代の土器が出土しており、当時この辺りの洞窟を住まいとして利用して生活していたことがわかる。

2　善昌寺には鎌倉時代末期に建てられた座禅堂が現存し、歩くと音を出す「鶯（うぐいす）張り」の廊下のある寺としても有名である。

3　「上下銀」とは、銀に「上下銀」と刻印された貨幣で、天領である江戸幕府の領内で流通した独自の貨幣である。

4　2003 年 10 月に開館した上下歴史文化資料館は、文豪田山花袋の生家を改築したものである。

5　大正時代の建物としては、劇場・芝居小屋の「翁座」があるが、この建物は京都の「南座」を手本に歌舞伎が上演可能な施設として設計されたものである。

6　上下キリスト教会の建物は、昭和のはじめ頃から地元信者の信仰の施設として利用されたものである。

7　上下町で最も高い山である翁山は、中世には、豪族によって山城が築かれたが、近年では、「世界一の夢のツリー」として知られている。

8　上下町宇根・井永地区は西日本でも最大級のカタクリの群生地であることから、「かたくりの里」として広く知られている。

9　矢野温泉の源泉は、1200 年頃（建仁年間、鎌倉時代）、弘法大師によって発見されたものである。

10　上下町の方言で、動詞「イガル」は「叫ぶ」、「アズル」は「預かる」という意味である。

《解答解説》

1　〇「じょうげびょうぶどうどうくついせき」と読む 。洞窟入り口は幅が 1.6m、高さが 1.1m あり、現存する。

2　〇そのとおり。

3　×江戸幕府は大森銀山で産出された銀を元手に、上下の有力商人に委託して金融貸付け業を営ませ、その利潤の銀によって、しだいに減少していった銀の産出量を補っていった。この「貸付融通の制」度のことを「上下銀」という。独自の通貨があったわけではない。また、幕府領内に止まらず、広く広島藩領や福山藩領などに銀を貸し付けた。江戸時代後期、財政逼迫した福山藩では「上下銀」を借受けたが、返済に困り、「上下銀」を「鬼より怖い上下銀（幕府の貸金)」と称したとされる。

4　×「文豪田山花袋」が誤り。「文学者岡田美知代」の生家である。他は正しい。なお、歴史文化資料館には、上下の歴史、岡田美知代の世界、上下の民話が常設展示されている。

5　〇そのとおり。

6　×戦前は商家の倉庫であったものを戦後になってキリスト教会として利用されたものである。

7　×上下町内で最も高いのは龍王山（768m)。岳山（741m)、空山（715m）がある。翁山は 538m である。他は正しい。

8　×「宇根・井永地区」ではなく、「宇根・河井地区」である。特に、河井地区はカタクリの自生に適した大規模なカルスト地形であることから、西日本最大級のカタクリの自生地約１ヘクタールが広がる。この地区はまた、この石灰地質を好むチョウセンヒメツゲやコタニワタリなど珍しい植物も自生する。

9　×「弘法大師」が誤り。諸国巡湯の「豊成法師」が発見したと伝えられる。他は正しい。

10　×「イガル」の意はその通り。「アズル」とは、「困る」の意。

11　三次市の伝統的工芸品の土人形「三次人形」、「十日市人形」や庄原市の「庄原人形」などと並んで、上下町にも江戸時代中ごろから創作された「上下人形」があった。

12　上下町の金融業は「上下銀」と呼ばれ、文久元年（1861 年）には長州藩に 1 万 3,500 両を貸し付けた記録が残っているほど隆盛を極めた。

13　万葉集にある柿本朝臣人麿の大和国と石見国往還のときの歌とされる「妻ごもる　矢野の神山露霜に　にほいそめたり　散らまく惜しくも」の「矢野の神山」とは、上下町矢野にある山のことであることがわかっている。

14　石見国大森代官所上下代官出張所のことを一般に「上下陣屋」という。

15　大森銀山産出のすべての銀は赤名峠を超えて、上布野―三次―吉舎を経て上下に至り、ここから府中―神辺、そして山陽道を経て上方、江戸へと運ばれた。

16　『日本書紀』には、上下の名の由来について、「東より登り極めて、ここより西へ下る所なるゆえに、上下と名に負いたるなり。此所より東南の水は芦田側に落ち、西北の水は三次河（江ノ川）に落ちあえへり」と記されている。

17　「善昌寺座禅堂」は、一辺が三間の「方形造り」である。

18　広島県指定天然記念物の推定樹齢 500 年のブナ科の常緑高木「シラカシ」は井永八幡神社の境内にある。

19　国の天然記念物「矢野の岩海」は巨大な岩の塊の重なり合いによって空洞ができ、その洞内に「ミカドキクガシラコウモリ」が生息していることから「コウモリ岩」と呼ばれている。

20　田山花袋の小説『蒲団』に登場するヒロイン「横田芳子」のモデルとなったのは上下出身の女流文学者岡田美知代である。

11　×「江戸時代中ごろ」ではなく「明治期」である。明治時代に安友徳吉によりはじめて創作されたとされる。「明治廿七年五月徳吉作之」との銘や、その息子の「明治四十年二月安友唯一郎作」の銘のものからわかる。このような土人形は明治、大正にかけて備後一円で、三月の子どもの節句などを中心に贈答された。「上下人形」には「天神」や「女物」などがあるが、「三次人形」のそれと非常に酷似しており、「三次人形」の影響を強く受けているものとみられている。

12　×「長州藩」が誤り。「広島藩」に貸し付けた記録が残る。

13　×「上下町矢野にある山」を詠んだものとわかっていない。上下八幡神社の伝えによると、「石見国に下向の途次当社にて（詠んだとされる）、上下は昔は矢野庄の一部で、神山は今の亀山八幡神社鎮座（本郷亀山八幡神社（三次市甲奴町本郷字宮沖））の山である」とされる。ただ、「矢野の神山」の「矢野」の比定地は他に播磨、伊予、出雲、備後などにあって、どこを詠んだものか未詳。

14　○その通り。大政奉還、王政復古による 1868 年（明治元年）1 月 16 日の広島藩への明渡しまで代官出張所が置かれた。

15　×「すべての銀」ではない。上布野―三次―吉舎―尾道から海路を使って上方や江戸へ銀を運ぶルートが主であったといわれる。ただ、石見大森への帰路は陸路である問題文にあるルートを主に使ったのではないかとされる。

16　×『日本書紀』ではなく、福山藩の国学者小寺清之（こでらきよゆき、1770 年-1843 年）の著したとされる『備後略記』という書物である。

17　○その通り。

18　○その通り。古木としては現在県下第 2 位である。落雷によって、主幹は空洞となったが、新たに若い枝が伸び、成長を続けている。

19　○その通り。

20　×「横田芳子」ではなく、「横山芳子」が正解。

21　上下町水永には、横穴式石室の帆立貝式の前方後円墳「南山古墳」がある。

22　吉井寺所蔵「木造薬師如来坐像」は鎌倉時代後期の作とされる。

23　1675（延宝 3）年、矢野の地が大飢饉であったにもかかわらず、年貢取立てが厳しく、百姓たちの中にも餓死するものが多かったので、仁兵衛・庄三郎という父子が、この窮状を福山藩主に直訴した。直訴した要求は適ったが、藩の掟に従い打ち首となった。矢野温泉近く安福寺裏山にある「義農仁兵衛と庄三郎の墓」は、この義挙を行った父子の冥福を祈って村民が建てた墓である。

24　「上下人形」は現在のＪＲ上下駅附近の質のよい粘土を使って創作された。

25　なまこ壁とは、四角い平瓦(ひらがわら)の目地(めじ)として漆喰(しっくい)をかまぼこ形に盛り上げて塗った壁をいう。

26　鎌倉時代に道願法師よって開創された専教寺の境内には井原西鶴の句碑があり、江戸時代後期に、「上下俳諧」が盛んであったことがうかがわれる。

27　上下の商店街を歩くと、商家の 2 階階部分などに目を細かく組み格子をはめた窓が今も残るが、これを「虫篭窓（むしかごまど）」という。

28　田山花袋の小説『蒲団』の中で、作家竹中時雄のもとに弟子志願をするヒロイン「横山芳子」の生まれは、「備後上下町（甲奴郡上下町）」であると設定されている。

29　上下には明治時代の警察署で、その屋根に「見張り櫓（やぐら）」が据えられている建物が今も改造されつつも残るが、明治の文豪田山花袋は小説『蒲団』の中でその建物や街の情景について描写している。

30　「翁座」の正面外観の 2 階部分には「映画公演」と大きく書かれた看板が今も残る。

21　〇年代は 6 世紀後半である、「後期古墳」である。この種類の古墳では県下第 2 位の規模で、県指定の史跡である。

22　〇寄木造、開敷蓮座、円頭光背の構造である。県指定の重要文化財である。

23　×仁兵衛・庄三郎は父子ではなく兄弟である。他は正しい。今でも、毎年 3 月 8 日には供養が行われているという。

24　〇道城、上高地区など JR 上下駅附近一帯が質のよい粘土地帯である。

25　〇その通り。上下でも、商家の壁や土蔵の壁などに用いられている。もともと土蔵などの雨のかかる部分である腰回りの防水保護を目的にしたものとされる。

26　×「井原西鶴」ではなく、「松尾芭蕉」の「唐土（もろこし）の　はいかい問（とわ）む　飛ぶ胡蝶」の句碑がある。また、この碑には、幻阿上人（蝶夢（ちょうむ））と風葉居士の句も併せて刻まれている。句碑は文化年間（1804～18 年）頃の建立と考えられている。江戸後期から「上下俳諧」が盛んだったことがうかがわれる句碑である。

27　〇その通り。

28　×小説『蒲団』では、横山芳子の生まれは、「甲奴郡上下町」ではなく、「備中の新見町（阿哲郡新見町）」となっている。

29　×小説『蒲団』ではなく、紀行文『備後の山中』が正しい。

30　×「映画公演」ではなく、「映画実演」である。

31　南北朝時代、備後の国で南朝方の中心人物であった長谷部氏の居城である「有福城」は、昭和 16 年に広島県指定の史跡となった。

32　矢野温泉近くの安福寺の向かいの山の中腹には、青の瓦屋根、白の壁、朱の欄干の、ひと際目立つ建築物「仁王門」がある。

33　広島県指定重要文化財である安福寺の「石造宝篋（ほうきょう）印塔」は、1335 年甲山の赤屋城（現在の世羅郡世羅町）の幼少の城主が一族の反乱にあって逃亡したが、斬殺されたのを一族が悼み建立したものと伝えられる。

34　文学者、雑誌記者であった岡田美知代は短編小説『亀さ』の中で上下の商店街で開かれていた「菊祭り」のにぎやかな様子を描写している。

35　「上下キリスト教会」の建物は、元は明治時代に建てられた商家の倉庫であり、塔屋部分は「火の見櫓」として利用されていたものである。また、塔屋の上の十字架部分は、もともと避雷針だったものであるが、中央部に横棒を取り付け改造されたものである。

36　翁橋のたもとには、「右　石州道　左　ぎをん廣島」と刻んだ石の道標が今も残る。

37　善昌寺には上下代官所で使用されていた当時の「脇門（わきもん）」等が今も残る。

38　上下川にかかる翁橋（おきなばし）の上流には、旧田辺邸へとつながる「トロッコレールの残る橋」がある。

39　現在、上下商店街の中央に位置する「十里堂辻広場」は、江戸末期、この場所に「十里堂」と呼ばれる私塾があったことから名づけられた。

40　翁山を大規模なツリーで飾る「世界一の夢のツリー」の実施は今年（2007 年）で 9 回目である。

31　×「長谷部氏」が誤り。「竹内氏」が正しい。有福庄の地頭「竹内弥次郎兼幸」の居城である。問題文の「長谷部氏」は、南北朝時代北朝方に属し、「翁山城」を居城とした。1336 年（建武 3 年）、「有福城」はこの長谷部氏、山内氏（世羅郡津口）によって落城した。この時、兼幸は逃れて落髪し、1354 年（正平 9 年）に歿した。なお、「有福城」の城山は標高 531m、比高 150m である。

32　○「仁王門」ではなく、「龍宮門（りゅうぐうもん）」である。近代になって建てられ、矢野地域のシンボル的な建築物である。

33　○墓は、花崗岩質で高さが 1.6m。胎蔵界四仏が刻まれている。宝篋印塔（ほうきょういんとう）とは、宝篋印経にある陀羅尼を書いて納めた塔である。石塔婆。方形の石を、下から基壇・基礎・塔身・笠・相輪と積み上げて、笠の四隅に飾りの突起があるものをいう。後には供養塔・墓碑塔として建てられるようになった。

34　×三次人形などを売る「でこ市」のにぎやかな様子を描写している。小説『亀さ』（文芸雑誌『新声』明治 40 年 7 月号（隆文館発行））は岡田美知代が師事していた作家田山花袋の元から一時帰郷していた 22 歳頃の作品である。

35　○その通り。戦前は、商家の倉庫であったが、戦後、キリスト教会の建物に改造され利用されているものである。この建物は、「ひろしま県文化百選・建築物編」に選定されている。

36　×「道標」は、「真野資料館」（シンノメガネ店）の脇に建つ。

37　×善昌寺が誤り。現在、時永家の裏戸として使用されている。

38　×翁橋の下流が正しい。田辺家が造り酒屋であったことから、酒等をトロッコを使って家屋に運び入れる際に用いたとされる橋。

39　×「十里堂辻広場」は、上下の地が尾道、三次、東城からほぼ十里の距離にある宿場町であったことから、名づけられた。井戸の周りにベンチが置かれ、トイレや休憩所が設けられている場所である。現在、観光客や広く地元住民の集会の場としても利用されている。

40　×今年（2007 年）で 19 回目である。

41　上下町は「分水嶺の町」とされるが、国留コミュニティーホーム前の「分水嶺地点」の標高は 200m であるとされている。

42　慶応 2 年（1851 年）、福山藩主阿部正方は江戸幕府の長州再征伐の命により、兵を率いて石州益田方面へ進出した。その際、上下に一泊したが、本陣は専教寺に置かれた。

43　上下代官所跡（旧上下町役場の敷地）には、「上下代官所屋敷跡」と刻まれた石碑が建っている。

44　岡田美知代は上京し、田山花袋に師事し、渡米も経験するが、晩年は上下町の生家岡田家で過ごした。

45　矢野温泉は環境省の「国民保養温泉地」に指定されている。

46　翁山西南の山麓にある曹洞宗護国山善昌寺は、「瀬戸内三十三観音三十番札所」として参拝者が多い。

47　松尾芭蕉の門下の俳人、河合曾良(そら)は、俳人古声編所収『はまちどり』の「出雲紀行」の中で「上下という所ハ山中ながら、人家つらなりたり。」との記述を残している。

48 上下町の方言で、名詞「テゴ」は「幼児」、「ユンベ」は「湯かげん」という意味である。

41　×国留コミュニティーホーム前の分水嶺地点の標高は 400mである。そこには、「ここは日本列島の背骨　分水嶺地点です」と標高等を表記した説明看板が立つ。また、旧上下町役場下附近では、標高は 386m である。中国山地の隆起の中にあって、日本海へ注ぐ江の川水系と瀬戸内海へと注ぐ芦田川水系との分水嶺である。

42　〇その通り。『是仏山専教寺史』には、福山藩の石州益田方面への遠征では、「戦闘部隊三千人が上下に分宿し、訓練演習を行うなど大騒動であった」と記されている。また、専教寺には、「阿部主計頭宿」（主計頭（かずえのかみ）とは福山藩主阿部正方のこと）と記された板看板が保存されている。なお、福山藩は、益田での戦いで村田蔵六（大村益次郎）の軍に敗退、益田城は落城し、約 800 人が石州を後に上下・福山方面に帰還したと前記史料に記されている。

43　×「天領陣屋跡」が正しい。上下は福山藩水野氏の所領であった。5 代水野勝岑（みずのかつみね）がわずか 2 歳で早世し、水野家に後嗣がなく断絶したことから、元禄 13 年（1700 年）幕府直轄の天領の地となり代官所が置かれた（一般に「上下陣屋」と呼ばれる）。代官所は、それから幕末の明治元年（1868 年）まで存続した。

44　×晩年は上下町の生家ではなく、実妹の嫁ぎ先のある庄原市で過ごした。

45　〇その通り。昭和 47 年（1972 年）に指定された。この「国民保養温泉地」とは、温泉の利用促進を狙い、温泉法第 14 条に基づいて環境省が指定をした温泉地のことをいう。広島県では他に湯来温泉、湯の山温泉も指定されている。

46　〇その通り。本尊は「千手観世音菩薩」である。

47　×「河合曾良」ではなく、「蝶夢（ちょうむ）」である。蝶夢は京都出身の江戸時代中期の僧で俳人である。専教寺には蝶夢の句が、松尾芭蕉と風葉居士（矢野風葉）の句と併せて刻まれている句碑がある。

48　×両者とも誤り。それぞれ、「テゴ」は「手伝い」、「ユンベ」は「昨晩、昨夜」という意味が正しい。

49　上下町小堀には、約 800 万年前に、地下からマグマが噴出（火山噴火）し、それが終息した後に、溶岩の破片や岩石の破片が火山灰と火道内部で固まったものである「火道角礫岩の露頭（かどうかくれきがんのろとう）」がある。

50　JR 上下駅近くに「かわらばん屋」という地名が今も残るが、これは「瓦版」という、今でいう「ミニコミ」紙を上下近隣の住民に向けて発行していた商家があったことから名づけられたものとされる。

51　江戸後期、矢野風葉は上下の医師であったが、俳諧をたしなみ、町人らへの指導も行い、上下においては俳諧が大変盛んであった。

52　上下町は、かつて矢野庄の一部で「城下（じょうげ）」と書き、後に上下村、上下町と改称していった。

53　上下商店街にある「真野博物館」では、上下の代官所で使用したといわれる徳川将軍家の「三つ葉葵紋がある火鉢」や倒幕の志士であった高杉晋作や西郷隆盛らの「手配書」、長州戦争で使用した「火縄銃」など多くの歴史的文化財を展示している。

54　上下町の方言で、形容詞「ゲサクナ」は「きれいな」、「ナルナ」は「平坦な」という意味である。

55　福塩線は、まず福山・府中～上下間が開通した後、三次方面への交通の便を確保するために、地元住民の熱心な陳情運動によって吉舎～上下間が開通して福塩線が全線開通した。

49　× 上下町小堀が誤り。「上下町矢野（宇根）の火道角礫岩の露頭」である。

50　×昭和の初めまで、屋根瓦製造工場が数箇所あって瓦を焼いていたことから「かわらばん屋」と名づけられたとされる。上下の多くの寺院や商家はこの地元で製造された瓦を使用して屋根を葺いていた（『善昌寺略縁起』）。

51　〇矢野風葉（やのふうよう、1714～1800）。風葉死後も田総（たぶさ）の俳人古声が「上下俳諧」を指導したとされる。

52　〇その通り。

53　〇その通り。薩摩藩士西郷吉之助（西郷隆盛）、長州藩士高杉晋作、筑前藩士平野次郎（平野次郎国臣）らの人相書きの「手配書」である。

54　×「ナルナ」の意はそのとおり。「ゲサクナ」とは、「下品な」の意。

55　×1935 年（昭和 10 年）吉舎～上下間が開通、そして、1938 年（昭和 13 年）府中～上下間の開通により、福塩線が全線開通した。

56　地元名産の「手作りのこんにゃく」や、「つきたてのお餅」を販売し、毎年秋には「野生のきのこ狩りツアー」を独自に企画して人気があるのは「矢多田（やただ）の直売所」である。

57　安福寺の約5.2ヘクタールの「あやめ園」では、5月～6月下旬にかけて、タレユエソウ、ジャーマンアイリス、菖蒲（あやめ）、花菖蒲など美しい花々を鑑賞することができる。

58　安福寺本堂前の菖蒲（あやめ）園の池中央にある丸い島には「安福寺」のミニチュアが建っている。

59　専教寺には、1865年（慶応元年）、第二次長州征伐を命じられた福山藩が石州益田遠征の途中宿泊した際に藩士が残したとされる「柱の刀痕」がある。

60　「美しい日本の歩きたくなるみち推薦会議」の行った「美しい日本の歩きたくなるみち500選」に「銀山街道を歩く・白壁のまち上下（じょうげ）」が選ばれている。

61　外国客が上下又は矢野温泉を訪れるため、国際線で広島空港に到着した場合、広島空港から福山駅行きリムジンバスで福山駅に行き、JR福塩線でJR上下駅までというように乗り継ぐ方法が最も早く便利である。

62　矢野温泉あやめ荘の泉質は「単純弱放射能低温泉（低張性アルカリ性低温泉）」で、源泉温度は30℃あり、湧出量200ℓ/m である。

63　上下町で行われる「かかしまつり」の「アイデアかかしの品評会」に広島県府中市在住の者でない埼玉県に在住する者であっても応募することができる。

64　上下町で製造される土産として有名なものは、「つちのこまんじゅう」、「乳団子」、「洋酒ケーキ」、「上下街道」、「こんにゃくラーメン」、「寒番茶」などがある。

65　昭和50年ごろまでは通勤通学の利用客も多く、賑わいをみせていた「JR上下駅」も現在は無人駅となり、駅舎は閉鎖され、乗車のためだけの利用が可能である。

56　×「法界山（ほうかいさん）産地直売センター」が正しい。県道24号線を府中市方面に向かう途中にある直売所である。矢多田の直売所は国道432号線沿い、矢野温泉口の交差点附近にある直売所である。

57　×「安福寺」ではなく、「四季の里」が正しい。500種以上、10万本の花が色とりどりに咲きそろうという。

58　×「五重塔」のミニチュアが正しい。

59　×「専教寺」が誤り。商家であった現在の「府中屋前原毛糸店」が正しい。福山藩士約800名が専教寺を本陣とし、多く藩士は上下の商家に分宿した。「府中屋前原毛糸店」も宿舎の一つであった。理由は定かではないが、藩士が柱を刀で切りつけたものと伝えられる。なお、福山藩は、益田での戦いで村田蔵六（大村益次郎）の軍に敗退した。

60　○2004年（平成16年）に選定されている。

61　×国際線で広島空港に到着後、福山駅行きリムジンバスで高坂ＢＳまで行き、高速バス「ピースライナー」に乗り継ぎ、「矢野温泉」又は「上下駅」まで乗車する方法がある。

62　○その通り。

63　○「アイデアかかしの品評会」には府中市在住の者でなくても、広島県内はもちろん県外からのご応募もできる。

64　×広島名物「乳団子」は庄原市で製造される和泉光和堂（いずみこうわどう）の商品である。他は正しい。

65　×乗車以外の利用もできる。JR職員はいないが、（財）府中市まちづくり振興公社が「JR上下駅」の管理運営を行い、駅舎にあるかつての駅長室や改札口部分に上下町の観光拠点としてのスペースを設けている。そこでは、公社スタッフによる観光案内をするなど、さまざまな情報発信のスペースになっている。また、そこでは上下町の土産の販売なども行っている。

66　矢野温泉薬師堂には守り本尊である木造の「薬師如来座像」が祀られており、「温泉のヤクッサン」と呼ばれ、多くの人に親しまれている。

67　上下町は近世より銘酒産地と知られ、江戸末期まで複数の酒蔵所があったが明治時代に入るとすべて廃業してしまった。

68　上下歴史文化資料館の2階には文学者岡田美知代の部屋を再現したコーナーがある。

69　「翁座」には奈落（ならく）が設けてあり、「せりだし」の装置を使って、奈落から俳優や大道具がせり上がり、又はせり下がる舞台演出が可能である。

70　翁山の「世界一の夢のツリー」は約 2、000 個もの電球を使って翁山全体を飾るイルミネーションのことである。

71　栗を丸ごと一粒と白あんをパイ皮で包んだ菓子である「上下街道」は上下の土産として大変喜ばれている。

72　小堀三間城の城主であった新見氏の菩提寺として建立された長福寺（上下町小堀）には、歴代の住職の墓塔である無縫塔が 12 基ある。

73　上下北小学校の校歌は、2002 年に俳優佐野浅夫が作詞し、横山菁児（せいじ)が作曲したことで知られる。

74　1945 年（昭和 20 年）4 月、広島県では本土決戦にそなえて「地区特設警備隊」が編制された。上下の属する甲奴郡と神石郡は小郡であったため、合同して「甲神部隊」と命名し、編制された。

75　現在、「世界一の夢のツリー」と称される翁山は、麓との標高差は約 500mの山である。

66　〇その通り。特に、土用の丑の日の縁日には多くの参拝者で賑わうという。矢野温泉薬師堂は別名「亀甲山湯禅寺」という。

67　×「昭和時代中ごろ」まで酒造所はあった。昭和初期に 4 軒が 1 つの酒造所に企業合同したが、現在はすべて廃業した。最後まで営業していた酒造所「末広酒蔵」 が、廃業直前の 1971 年（昭和 46 年）冬に仕込んだのは清酒「山陽 扇正宗」であった。

68　〇その通り。「美千代の部屋」という。

69　×「翁座」には奈落はあるが、「せりだし」の装置はない。「回り舞台」の装置があり、奈落で「回り舞台」を人力で回転させる仕組みとなっている。「せりだし」の装置は、劇場などで、俳優や大道具などを奈落部分から舞台または花道へ押し上げる仕組みをいう。「せりだし」の反対は「せり下げ」「せり下ろし」などという。

70　×約 4、000 個の電球を使ったイルミネーションである。

71　×「上下街道」ではなく、上下名物「つちのこ饅頭」が正しい。「上下街道」は粒あんをベースにした和菓子。

72　〇無縫塔の中には「天正八年」、「当山中興開山」、「暹用和尚」と記名のある小米石製の塔があり、県内でも珍しい貴重な遺品とされる。

73　×「上下南小学校の校歌」が正しい。俳優佐野はテレビ番組「水戸黄門」の光圀役で知られる。作曲家横山菁児は「宇宙海賊キャプテンハーロック」、「聖闘士星矢」などを作曲したことで知られる。

74　〇「甲神（こうしん）部隊」の構成隊員は、老兵中心の三箇中隊 300 名であった（広島原爆戦災誌)。1945 年（昭和 20 年）8 月 1 日に広島市警備のため出動命令を受けて、3 日に上下を出発、広島市に到着したが、6 日の原爆投下によって多数の犠牲者を出した。

75　×麓との標高差は約 150mの山である。

76　1591 年（天正 19 年）の豊臣秀吉の「山城廃止令」により、翁山城、有福城は廃城した。これにより城主らは広島城下に屋敷を与えられ移住することとなった。

77　江戸時代末期、上下は「備後俳諧」の一大拠点であった。その中心人物は長谷部三郎兵衛（俳号を風外）と長万吉（俳号を露萩）の兄弟であったが、露萩は 1858 年（安政 5 年）に句集「翁山集」を残した。

78　二森村の庄屋五郎左衛門の「夢物語」には、明治維新の動乱期に徳川幕府直轄領であって、幕府代官所が置かれていた上下村は、新政府からの旧幕府領地を追討没収すべきとの命令で官軍が進駐することとなり、「古今無双之大混雑」であったことが記されている。

79　中島京子の小説「FUTON」は田山花袋の「蒲団」を英語に翻訳したもので、アメリカではこの小説がきっかけとなって、明治期の日本文学への関心が高まっている。

80　上下町矢多田の岳山（だけやま）は広島県の自然環境保全地域に指定されている。

81　岳山頂上部の尾根上にある巨岩群の南面では、その規模で広島県下随一といえるマツタケの群落が自生している。

82　上下町北部の有福では農地拡張工事が行われた際に、溝の側壁から多くの土器片が出土しており、縄文文化が確認されている。

83　上下入田池は、江戸時代中期に、大森代官所出張上下陣屋の役人である手付・手代の指示によって築造されたものである。

84　「上下銘菓　洋酒ケーキ」は、焼いたスポンジケーキ生地を砂糖蜜とウィスキー、ラム酒を合わせたシロップにつけた洋菓子である。

85　上下歴史文化資料館のビデオコーナーで観ることができる岡田美知代の人生と「蒲団」にまつわるエピソードをわかりやすくまとめたビデオは、俳優山口崇がナレーション出演して制作されている。

76　〇その通り。

77　〇その通り。上下俳人連は京都の句会にも出席し、京都を初めとした各地から俳人連が訪れた（「上下町史」）。

78　〇その通り。「夢物語」は二森村庄屋五郎左衛門の動乱見聞記と思われる（「上下町史」）。

79　×「FUTON」は、田山花袋の「蒲団」を下書きにした小説である。「蒲団の打ち直し」と題して主人公竹谷時雄の妻の視点で見つめる作品を随所に織り込んで、「蒲団」の書直しを図る中年アメリカ人研究者と愛人の日系女子学生の物語がある。

80　〇その通り。上下町南東端の府中市斗升町との境にある岳山（だけやま）、嶽山国有林は 738m の山で、 面積は 44.72ha である。

81　×「マツタケ」が誤り、「イワタケ」が正しい。イワタケは食用地衣類で、「幻の珍味」、「仙人食」と呼ばれる。このイワタケ群落は高さ 5～7m の垂直面に、幅 5～6m の範囲で広がっている。大きなもので直径 10 ㎝以上に達している。

82　×上下町の最南端で、芦田川水系の最北端である扇原が正しい。発見は 1961 年（昭和 41 年）のことである。土器は縄文時代前期から後期にわたっていた。しかし、「土器こそ多数採取したとはいえ、遺跡の位置・層序関係などは不明な点が多い」とされている（上下町史）。この後、1984 年（昭和 59 年）に行年遺跡、1988 年（昭和 63 年）の大和遺跡 A 地点、1993 年（平成 5 年）の塚足遺跡の発掘でも縄文時代の土器や石器が出土した。

83　×江戸時代初期に福山藩主水野美作守の時代に築造されたとされる。

84　×「ウィスキー」ではなく、「ブランデー」が正しい。

85　×俳優の佐野浅夫が正しい。

86　上下町で行われるさまざまな祭りを英語で表記すると、「The Dogtooth Violet Festival」、「The Iris Festival」、「The Summer Festival with Costume Parade and fireworks」、「The Scarecrow and Whitewall Festival」となる。これらはそれぞれ、「カタクリまつり」、「あやめまつり」、「じょうげ花火まつり」、「飛脚リンピックと白壁まつり」のことを指している。

87　1962 年（昭和 37 年）7 月、旧上下町立上下中学校の旧体育館の開館 1 周年記念行事として「NHK のど自慢大会」が開催され、地元上下町から多くの者が参加出場した。

88　翁座は、1993 年（平成 5 年）、中国放送制作の番組「週刊パパタイム」で、閉館中の建物が取り上げられたことにより、多くのボランティアの協力をえて復興した。また、翌年には同番組に出演したタレント萩本欽一の自主監督映画も上演された。

89　1996 年（平成 8 年）に旧上下町で制定された「上下町まちづくり景観条例」は、2004 年（平成 16 年）4 月の府中市との合併により廃止され、現在は「府中市文化財保護条例」によって上下町の街並みなどの景観形成が行われている。

90　2001 年（平成 13 年）8 月、上下運動公園野球場のオープン記念行事としてプロ野球ウェスタンリーグ広島対近鉄戦が行われた。

91　現在、上下町には鉱山はほとんど見られないが、過去には上下町を繁栄させた重要な産業であった。

92　上下町の面積の内訳を見ると、山林面積は 60％、耕地面積は 40％である。

93　上下代官所の御用達として各村と代官所を仲介する役割を果たした宿のことを「本陣宿」という。

94　翁山「世界一の夢のツリー」は、日本イベント大賞の受賞歴がある。

95　上下町の「十里堂辻広場」は、地域のコミュニティとふれあい活動を通して地域住民の福祉の増進に資するために設定された広場である。

86　×「The Scarecrow and Whitewall Festival」は「かかしまつりと白壁まつり」を指す。Scarecrow は「かかし」のことである。問題文の他は正しい。なお、カタクリは、英名を Dogtooth Violet という。カタクリはユリ科の植物だが、英語ではスミレに似ており、また dogtooth は犬歯や牙、 糸切り歯のことであるが、花の形がまさに犬の歯、牙のようであるから名付けられたようである。

87　×「旧上下町立上下中学校の旧体育館」ではなく「旧上下中央公民館」の開館 1 周年記念行事が正しい。また、「旧上下中央公民館」は現在の「格技場」のことである。

88　○その通り。この番組で萩本欽一が映画をもう一度上演しようと呼びかけ、約 500 人のボランティアが手弁当で翁座の大掃除と改修作業が行われ、その後萩本の映画を上演した。

89　×合併前の平成 15 年 12 月 24 日に府中市よって「府中市上下町まちづくり景観条例」が制定され、この条例により上下町の街並みなどの景観形成が行われている。なお、本条例の附則には「この条例は、平成 16 年 4 月 1 日から施行し、当分の間府中市上下町区域において適用する。」とされている。

90　○正しい。試合は 7 対 4 で広島が近鉄に勝利した。

91　○その通り。小塚の鉄、二森肉原の亜鉛、河井の石灰岩と銅（千人原鉱山）、岡屋篠原の銅、矢野の亜鉛など古くから鉱山が多かった（「上下町史」）。

92　×山林面積は 86.2％、耕地面積は 10.7％である。

93　×「本陣宿」ではなく、「郷宿」が正しい。郷宿は、年貢や郡中入用上納業務を主たる任務としてはじまったが、後には、村内で起こった訴訟の手続仲介や犯罪被疑者も預かった（「上下町史」）。

94　○その通り。1990 年 5 月に第 6 回日本イベント大賞審査員特別賞を受賞した。

95　○その通り。平成 16 年 3 月に制定された「府中市十里堂辻広場設置及び管理条例」第 1 条にある広場の設置目的である。

96　カタクリは高さ 10～15cm ほどのユリ科に属する一年草の植物である。河井と宇根の「かたくりまつり」は一斉に開花が見られる中秋 10 月中ごろ開催される。

97　旧上下町は 1954 年（昭和 29 年）3 月に、上下村、矢野村、吉野村、清岳村、階見村を合併し発足した町であった。

98　上下町とその周辺町村では、祖霊を氏神社本殿に祀り「若宮」と称していた。井永八幡神社（上下町井永）では、高さ 18～35cm の神職姿の立像や座像の若宮神像 48 体を安置する。

99　主に商店街で各商店や個人の家が所有する風鈴や趣きのある提燈（ちょうちん）などを飾って、上下の夏を彩る催しは「白壁まつり」の際に行われるイベントである。

100　「府中市上下町まちづくり景観条例」によれば、市長は、まちづくりの推進に寄与し、優れた景観形成を実践した個人、団体等に対し、表彰することができるとされている。

101　甲奴郡や上下町での弥生文化の最初の調査は、広島県立上下高校グランド北側の道路拡張工事現場で弥生時代後期と古墳時代の土器片が散乱し、住居跡の一部が露出しているのを通学途中の小学生が発見したことから、調査が開始されたのが始まりである。

102　上下町井永の弓を使った「弓神楽」は、全国的にも貴重なものとして、広島県の無形民俗文化財と文化庁の「選択芸能」の指定を受けている。

103　上下町は古来たくさんの昔話が代々語り継がれて「民話の里」としても知られるが、話の始まりは必ずといっていいほど「まっかひとむかし」という言葉で始まるのが特徴である。

96　×「一年草」と「中秋 10 月中ごろ」が誤り。カタクリは、高さ 10～15cm ほどのユリ科に属す「多年草」植物で、花が咲くのは「4 月から 5 月」である。4 月初旬頃、河井と宇根の 2 つの地区で「かたくりまつり」が行われる。

97　×「上下村」ではなく、「上下町」が正しい。1897 年（明治 30 年）に上下村に町制が施行され合併当時は既に上下町が誕生していた。

98　×「井永八幡神社（上下町井永)」ではなく、「階見（しなみ）八幡神社（上下町階見)」が正しい。この神社の若宮神像等は広島県有形民族文化財に指定されている（「上下町史」)。

99　×「白壁まつり」の際に行われるイベントではなく、上下の夏を彩るのは「じょうげ涼彩まつり」のことである。

100　〇その通り（府中市上下町まちづくり景観条例第 21 条)。

101　×「通学途中の小学生」ではなく、「上下高校へ通勤途中の服部氏」が正しい。遺跡は地名から「道城遺跡」と呼ばれる（「上下町史」)。

102　〇その通り。弓神楽は弓祈祷、神弓祭、内神楽とも呼ばれ広島県東部の備後一円で行われていた（「上下町史」)。

103　×「話の始まり」ではなく、「話の終わり」である。「まっか」は昔話の結びの言葉である。話が終わった後に「まっかひとむかし」と言って話を締めくくられる。「まっこと昔」からきていると考えられている。2003 年 12 月には「方言イベント　まっかひとむかし」が上下町の翁座で行われた。また、1993 年（平成 5 年）刊『上下町史』には、116 編の昔話が収録されており、横山菁児プロデュース、俳優佐野浅夫、声優野沢那智らの朗読による DVD『上下の昔話』や、第二作『上下の昔ばなし』も制作されている。これら昔話は府中市上下歴史文化資料館で視聴することができる。

104　毎年 2 月中旬から 4 月初旬にかけて、上下町の民家や商店約 70 軒の玄関、ショーウィンドなど人目のつきやすい場所に、ひな人形を飾るイベント「節句まつり」が行われる。第 2 回のまつりである 2007 年（平成 19 年）には、最も古い江戸後期の「天保びな」というひな人形が飾られた。

105　上下町、矢野村、吉野村、清岳村、階見村を合併して旧上下町が発足した 1954 年（昭和 29 年）当時の人口は、8、500 人であった。

104　×「節句祭り」ではなく、「上下ひなまつり」が正しい。また、2007 年（平成 19 年）の最も古い「ひな人形」は「天保びな」ではなく、江戸中期の「享保びな」が飾られた。なお、2007 年（平成 19 年）から 4 月下旬から 5 月上旬にかけて同じく多くの民家や商店に五月人形や鯉のぼりを飾るイベント「じょうげ端午の節句まつり」が行われている。

105　×8,500 人ではなく、11,205 人が正しい。合併時の他の村をのぞいた上下町単独人口でも 4,031 人であった（「上下町史」）。

参考文献

上下町　上下町合併 50 周年記念誌　いつまでも伝えたい心のふるさと（上下町）　2004 年

上下町史 史料編 1(中世・近世) 上下町史編纂委員会、上下町教育委員会（上下町）　1998 年

上下町史. 史料編 2(近代・現代) 上下町史編纂委員会、上下町教育委員会（上下町）　2001 年

上下町史. 通史編　上下町史編纂委員会、上下町教育委員会（上下町）　2003 年

上下町史. 民俗編 上下町史編纂委員会、上下町教育委員会（上下町）　1991 年

上下町史. 民俗資料編　上下町史編纂委員会、上下町教育委員会（上下町）　1993 年

善昌寺略縁起（曹洞宗護国山善昌寺ホームページ）

是佛山専教寺史（是佛山専教寺護持会）　1992 年

上下町老人保健福祉計画（上下町）　1994 年

上下町の展望（中国観光地誌社）　1966 年

府中市市制施行 50 周年記念誌　府中のあゆみ―先人たちのいとなみ―（府中市教育委員会）　2005 年

府中市案内集～府中市関連パンフレット類を収集～（府中市立図書館）2000 年

あとがき

この「上下町ご当地検定」は、将来、上下町で「ご当地検定」というものが実施されたなら、どのような問題が出題されるであろうかという観点から予想問題として goo ブログ「Joge April」上において 20 回にわたって投稿したものを再編集したものです。

いまだ 100 題余りと「上下町」のすべてを網羅するにはほど遠いものですが、問題ごとに新たにナンバーリングをおこない、読みやすく左に問題文、右に解答解説を配置して、加筆・訂正をした上で再編集してみました。
未だ問題制作に不慣れで、表現がこなれていません。また、私の不勉強により誤解をしている箇所もあるかもしれません、その際はぜひご指摘ください。この問題集が「上下町」に関心をもつ方に喜んでいただければ幸いです。

今回のこの問題集は「正誤問題編」です。ご当地検定ではさきがけの「京都・観光文化検定試験」では 3 級、2 級は 4 者択一式問題、1 級は記述式問題で検定が実施されていることから、今後はそういった実戦向け問題形式での予想問題の制作や子供向け問題編の制作をしてみたいと考えています。

2007 年 12 月 20 日

著　者　**Joge April**
jyouge_april@mail.goo.ne.jp

発　行　2007 年 12 月 20 日
http://jogeapril.web.fc2.com
http://blog.goo.ne.jp/jyouge_april